

第2回 庄原市市街地公共施設のあり方検討委員会 次第

■日時 平成29年12月7日(木) 10:00~12:00

■場所 庄原市役所 3階 防災対策室

1. 開会

2. 議事

(1) 市民会館・庄原自治振興センターの利用状況等について 資料①

(2) 庄原市民会館のあり方アンケートについて 資料②~④

(3) 今後のスケジュールについて 資料⑤

3. 閉会

庄原市民会館・庄原自治振興センターの利用状況等について

I. 庄原市民会館

1. 施設運営

- ① 指定管理者：NPO 法人 庄原市芸術文化センター
- ② 開館日数：357 日
- ③ 開館時間：午前 9 時から午後 10 時
- ④ 職員配置：事務局長 1 人、事務局次長 1 人、職員 2 人

2. 利用者実績

(単位：人)

	(1) ホール	(2) ロビー	(3) 集会室	(4) 研修室	合計
平成 26 年度	18,872	—	9,438	1,414	29,724
平成 27 年度	22,077	—	10,653	1,745	34,475
平成 28 年度	22,886	—	10,368	1,926	35,180

3. 施設別の主な利用状況

(1) ホール

① 毎年度開催されているもの

内 容	主催者	入場料 (円)	参加者 (人)
敬老祝賀会	庄原市	無料	約 900
戦没者追悼式並びに平和祈念式典	庄原市	無料	約 700
けんみん文化祭	同実行委員会	無料	約 600
しょうばらフェスタ	庄原市	無料	約 500
教育フォーラム	庄原市	無料	約 500
庄原市内中学校合唱コンクール	庄原市	無料	約 500

その他：子どもミュージカル・人権講演会・庄原市老人クラブ連合会総会・成人式・庄原中学校合唱祭・庄原格致、西城紫水、東城高校合同芸術鑑賞・音楽発表会・介護予防講座・グランプリコンサートなど

② 平成 26 年度

内 容	主催者	入場料 (円)	参加者 (人)
映画上映会「アナと雪の女王」	庄原市芸術文化センター	無料	797
鼓童 2014 庄原公演	庄原市芸術文化センター	一般：5,400 学生：2,500	636

その他：交通安全キャラバン・花柳銀扇会発表会・県大サークル発表会など

③ 平成 27 年度

内 容	主催者	入場料 (円)	参加者 (人)
映画上映会「母と暮らせば」	庄原市芸術文化センター	1,100	799
由紀さおり・安田祥子ファミリーコンサート	庄原市芸術文化センター	一般：2,500 高校生以下：1,500	761

その他：TAIKO 交流会・広島みどり信金講演会・広島県暴力追放協議会結成 30 周年記念大会・NHK 公開録画など

④ 平成 28 年度

内 容	主催者	入場料 (円)	参加者 (人)
綾小路きみまろ公演	庄原市芸術文化センター	5,500	912
金藤理恵選手パブリックビューイング	庄原市	無料	約 600
金藤理恵選手金メダル報告会	庄原市	無料	約 900

その他：響の里「しょうばら」太鼓と神楽の夢舞台・広島県知的障害者福祉大会
・庄原実業高校発表会など

(2) ロビー (平成 28 年度の状況)

- ① 会場利用料なし…庄原自治振興区主催展示会 (活動報告・作品展)
庄原市主催展示会 (広島県こども科学賞入賞作品)
- ② 会場利用料あり…展示販売会・雑貨販売など

(3) 集会室 (平成 28 年度の状況)

① 会場利用料なし

内 容	開催回数	利用者 (人) /回
合唱練習	毎週 1 回	5~30
楽器練習	毎週 1 回	5~10
民謡練習	毎月 1~2 回	10~20
体操練習	毎週 1 回	5~30

その他：各種団体会議・総会など

② 会場利用料あり

内 容	開催回数	利用者 (人)
展示販売会	年 2 回程度	—
企業セミナー	年 2 回程度	—

(4) 研修室 (平成 28 年度の状況)

① 会場利用料なし

内 容	開催回数	利用者 (人) /回
短歌教室	年 6 回程度	5~10
詩の学習	毎月 1 回	5~10
楽器練習	毎月 1 回	5~10
書道教室	毎月 1~2 回	5~15
パソコン教室	毎月 2 回	10~20

その他：各種団体会議・総会など

② 会場利用料あり

内 容	開催回数	利用者 (人)
学校説明会	年 3~5 回	—
無料法律相談	毎月 1 回	—
展示販売・商談会	年 3~5 回	—
企業セミナー	年 2 回程度	—

4. 事業収支

(1) 収入の部

(単位：千円)

	指定管理料	利用料金	その他	合計
平成 26 年度	34,681	2,642	2,029	39,352
平成 27 年度	35,217	2,862	2,223	40,302
平成 28 年度	34,206	2,485	3,694	40,385

※その他：入場料等事業収入・自動販売機売上など

(2) 支出の部

(単位：千円)

	人件費	事務費	事業費	管理費	一般管理費	合計
平成 26 年度	11,565	4,820	5,082	14,727	2,044	38,238
平成 27 年度	11,761	5,593	4,971	14,895	2,060	39,280
平成 28 年度	10,367	4,594	7,512	14,724	2,159	39,356

(3) 収支 (収入－支出) (単位：千円)

	収支差額
平成 26 年度	1,114
平成 27 年度	1,022
平成 28 年度	1,029

5. 近年の修繕・工事費

(1) 平成 26 年度 (単位：千円)

事業内容	金額
エレベーター設置工事	30,510
集会室エアコン設置工事 ほか	2,517
玄関ホール屋上防水修繕 ほか	7,077
壁面看板設置	38
合 計	40,142

(2) 平成 27 年度 (単位：千円)

事業内容	金額
変圧器取替修繕工事	1,299
ロビー屋上防止修繕工事	2,841
地下タンク油面計取替工事	173
吸収式冷温水器修繕工事	4,082
合 計	8,395

(3) 平成 28 年度 (単位：千円)

事業内容	金額
非常放送設備取替工事	1,069
汚水マス改修工事	159
ロビー排煙設備修繕工事	1,436
消防用設備修繕工事	505
駐輪場まわり污水管迂回工事	697
合 計	3,866

(4) 平成 29 年度 (実施予定含む)

事業内容	金額
放送設備改修工事	395
非常照明設備修繕工事	356
吸収式冷温水発生器改修工事	1,129
消防用設備修繕工事 (実施予定)	548
空調用自動制御器感知器交換修繕 (実施予定)	123
合計	2,551

II. 庄原自治振興センター

1. 施設運営

- ① 指定管理者：庄原市庄原自治振興区
- ② 開館日数：357日
- ③ 開館時間：午前8時30分から午後10時
- ④ 職員配置：統括職員1人、職員2人

2. 利用者実績

(単位：人)

	平成26年度	平成27年度	平成28年度
研修室A	518	361	246
研修室B	6	14	19
研修室AB	2,048	2,243	2,845
研修室G	2,396	2,263	2,253
2F会議室	2,072	1,969	1,973
談話室	5,323	5,146	4,330
実験実習室	248	359	300
研修室C	18	30	14
研修室D	0	5	32
研修室E	53	12	16
研修室CD	175	254	258
研修室DE	0	0	21
研修室CDE	400	474	239
1F会議室	338	409	533
合計	13,595	13,539	13,079

3. 主な利用内容と利用施設（平成28年度の状況）

利用内容	団体	利用場所	回数	延べ人数
書道教室	6	談話室・研修室AB	144	1,105
生け花教室	3	研修室G	94	992
各種子ども教室（美術館・マナー教室など）	4	談話室・研修室AB	93	898
洋裁教室	1	研修室G	101	666
手芸教室	3	2階会議室・研修室G	78	454

その他：各種稽古（大正琴・三味線・謡曲・詩吟・カラオケなど）・フラワーアート・古文書解説・自治振興区会議・各種団体定例会（総会）など

4. 事業収支

(1) 指定管理料…主に施設の維持管理費として使用

①収入の部

(単位：千円)

	指定管理料	利用料金	その他	合計
平成 26 年度	348	72	0	420
平成 27 年度	352	63	0	415
平成 28 年度	339	88	9	436

②支出の部

(単位：千円)

	事務費	管理費	合計
平成 26 年度	128	325	453
平成 27 年度	102	297	399
平成 28 年度	103	336	439

③収支 (収入－支出) (単位：千円)

	収支差額
平成 26 年度	▲ 33
平成 27 年度	16
平成 28 年度	▲ 3

5. 近年の修繕・工事費

(1) 平成 26・27 年度

修繕工事無し

(2) 平成 28 年度

(単位：千円)

事業内容	金額
壁塗替え修繕工事	778
エアコン更新等	470
合計	1,248

(3) 平成 29 年度

事業内容	金額
調理実習室ガスコンロ更新	124
合計	124

庄原市民会館のあり方に関する市民アンケート調査について (庄原市市街地公共施設のあり方検討)

1. 調査の目的

庄原市街地の公共施設のあり方を検討するにあたり、最も大規模な施設である「庄原市民会館」の整備の方向性が大きな影響を及ぼすことから、「庄原市民会館」に対する市民の意識や利用ニーズを把握し、今後の整備の方向性の参考とする。

2. 調査対象

(1) 市民アンケート

次の年齢区分に応じ2,000人を対象とする。

- ・ 18歳～29歳（高校卒業相当を対象とするため、18歳は平成11年4月1日以前に生まれた者に限る。）
- ・ 30歳～49歳
- ・ 50歳～69歳
- ・ 70歳以上

(2) 高校生アンケート

市内の高校（格致・実業・西城紫水・東城）に通学する2年生全員、約300人を対象に、各学校へ依頼する。

3. 実施予定期間 平成30年1月上旬～下旬

4. 市民アンケート対象者の抽出（長期総合計画アンケートの抽出方法を参考とする）

年齢階層、性別及び居住地域のバランスを考慮するとともに、全体回答率、統計上の必要回答数及び稼動年齢層の回答数を確保するため、次の手順により対象者を抽出する。

(1) まず、年齢階層別抽出数を次の手順で求める。

- ・ 全体2,000人の約1/2を均等割数として配分する。
- ・ 残りの約1/2を年齢階層の人口比率に応じて配分する。

■年齢階層別抽出数の算出（平成29年9月30日時点 住民基本台帳人口）

年齢階層	① 均等割 { (2,000÷2) /4 }	② 人口比 率	③ 人口割 {(2,000-①)×②}	③年齢階層別抽出数 (①+②)
18歳～29歳	250	9.87%	99	349
30歳～49歳	250	22.84%	228	478
50歳～69歳	250	33.62%	336	586
70歳以上	250	33.67%	337	587
合 計	1,000	100.00%	1,000	2,000

※70歳以上の人口比率は、他の年齢階層を概ね20歳の幅で設定していることから、70歳～89歳で算出する。

(2) 次に、地域別の男女比率を算出する。

■地域別男女比率の算出（平成29年9月30日時点 住民基本台帳 全人口36,395人）

	男性	女性
庄原	24.01%	26.05%
西城	4.55%	5.10%
東城	10.30%	11.68%
口和	2.74%	2.87%
高野	2.35%	2.64%
比和	1.75%	2.14%
総領	1.73%	2.09%
合計	47.43%	52.57%

(3) 最後に、(1)で算出した年齢階層別抽出数に(2)で算出した地域別の男女比率を乗じ、次のとおり年齢階層別・男女別・地域別の市民アンケート対象者数を算出する。

■市民アンケート対象者

年齢階層 地域	18歳～29歳 (抽出数 349 人)		30歳～49歳 (抽出数 478 人)		50歳～69歳 (抽出数 586 人)		70歳～ (抽出数 587 人)		合計
	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	
庄原	84	91	115	125	141	153	141	153	1,003
西城	16	18	22	24	27	30	27	30	194
東城	36	41	49	56	60	68	60	69	439
口和	10	10	13	14	16	17	16	17	113
高野	8	9	11	13	14	15	14	15	99
比和	6	7	8	10	10	13	10	13	77
総領	6	7	8	10	10	12	10	12	75
合計	166	183	226	252	278	308	278	309	2,000

5. 設問の構成内容及び意図等

項目	構成内容	意図・目的
ご協力をお願い	①庄原市街地の公共施設の現状と課題を明示 ②市民会館の現状や課題等を明示 ③アンケートの趣旨を明示 ④整備にあたり人口推移、財政状況、公共施設の状況を明示	以下の事項を理解してもらい、アンケートに回答してもらうための項目 ①市街地の公共施設の現状 ②市民会館の老朽化等の現状 ③何を問うアンケートなのか ④人口減少・財政状況・公共施設の状況 市民会館の整備のあり方について、上記を理解のうえ、回答してもらう。
I 回答者属性	問1：性別 問2：年代 問3：居住地域	年代や居住地域における意見の違いを明らかにするための項目 属性別にクロス集計を行う。
II 現在の市民会館について	問4：利用の有無 問5：①利用施設 ②利用目的 ③施設評価 ④自由意見	市民会館利用者の左記①～④を把握することで、施設整備の優先順位や整備のあり方の基礎資料とする。
III 市民会館の整備について	問6：市民会館の役割 1.市民の発表の場 2.コンサート等の開催 3.講演会・シンポジウムの開催 4.展示・交流スペースの提供 5.市民の日常的活動	これからの市民会館の機能として、市民が何を重要視しているのかを把握し、充実していくべき内容等を検討する基礎資料とする。
	問7：市民会館ホールの規模	ホールの規模について、市民がどの程度必要と考えているのか把握する。
	問8：ホールの鑑賞活動において重要視する条件	ホールの整備内容の重要度を把握する。
	問9：市民会館整備の方針を選択 1.大規模改修 2.移転新築 3.現状維持 4.その他	市街地の公共施設の現状と課題、市民会館の現状と課題、人口推移、財政状況、公共施設の状況をふまえ、市民会館の整備等の方針を市民がどう考えているかを把握する。
	問10：市民会館整備を含めた優先すべき市の建設事業	市の建設事業の中で、市民会館整備の優先度を把握することで、どの建設事業を市民が望んでいるのか確認し、市民会館整備の方向性の判断材料とする。
	問11：市民会館のあり方に対する自由意見	設問以外の市民会館のあり方に関する市民の意見や要望を把握する。
問12：市街地公共施設のあり方に対する自由意見	市街地公共施設のあり方に関する市民の意見や要望を把握する。	

あなたの声をお聞かせください（ご協力のお願い）

庄原市民会館のあり方に関する市民アンケート

日頃より、市政運営に対しまして、ご理解とご協力をいただき誠にありがとうございます。

本市の中心市街地には、市役所本庁舎をはじめ、多様な公共施設が所在しており、これらの中には、老朽化に加え、建設当時の機能が、現在の利用者ニーズに十分に対応できていない状況にあります。

また、公共施設が分散しているなどの課題もあり、将来の市街地における機能強化や公共施設の最適な配置などを含め、総合的な検討が求められています。

その中でも、最も大規模な施設である「庄原市民会館」については、

- 築後 40 年が経過した現在まで大規模改修を行っていないため、座席、空調、トイレなど、利用者ニーズに対応できていない部分がある。
- 設備等の老朽化は進んでいるが、一部補強工事（事業費約 1,000 万円程度）を実施すれば、建物の耐震性を有する。

といった現状があります。

つきましては、この「庄原市民会館」の今後のあり方について参考とするため、市民の皆さんのご意見をお聞きするアンケート調査を実施することとしました。

このアンケート調査は、市内に住民登録を有する満18歳以上の方（平成29年11月1日現在）の中から、無作為に抽出した2,000名を対象とするもので、あなたがその対象者に選ばれました。

皆さんからいただく回答は無記名としており、調査結果は統計的に処理しますので、回答者にご迷惑をおかけすることはありません。

ご多用のところ恐れ入りますが、アンケートの趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

平成29年12月

庄原市長 木山 耕三

〔お問い合わせ先〕 庄原市 企画振興部 企画振興課 企画調整係

電話：0824-73-1128 FAX：0824-72-3322

※今回のアンケートを実施するにあたりましては、庄原市の現状及び将来推計などをお示しすることで、現状等をご理解いただき、ご回答の参考にしていただきたいと思います。以下に記載しております、1～3の内容をお読みいただき、アンケートにご回答いただきますよう、お願いいたします。

以下に記載しております、1～3の内容をお読みいただき、アンケートにご回答いただきますよう、お願いいたします。

1. 人口推移

本市の人口は、合併時の平成 17 年の約 4 万 3 千人が、平成 27 年には 3 万 7 千人となり、10 年間で約 6 千人減少しています。今後も人口減少が推計される中、第 2 期庄原市長期総合計画に掲げる平成 37 年の目標人口は、推計人口に約 3 %をプラスした 3 万 2 千 700 人以上と設定しています。



平成 37 年の目標人口
32,700 人

出典：国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」（平成 25 年 3 月推計）

2. 財政状況

① 借入金

市の借入金残高（地方債残高）は、合併当初の平成 17 年度に約 763 億円ありましたが、財政健全化の取り組みにより、平成 28 年度では約 525 億円となり、238 億円を削減してまいりました。

しかし、他の自治体と比較すると、市民一人あたりの借入金残高（地方債残高）は、106 万円で県内市では最も高く、全国の市の中でも 10 位となっています。

広島県内の人口 1 人当たりの地方債残高（単位：千円）

県内順位	全国順位	市名	金額	県内順位	全国順位	市名	金額
1 位	10	庄原市	1,062	8 位	164	府中市	622
2 位	14	安芸高田市	1,034	9 位	199	呉市	586
3 位	19	三次市	985	10 位	305	尾道市	490
4 位	50	広島市	838	11 位	313	廿日市市	485
5 位	81	大竹市	754	12 位	377	竹原市	444
6 位	113	江田島市	697	13 位	385	東広島市	440
7 位	156	三原市	629	14 位	587	福山市	316

順位が高いほど、市民一人当たりの借入金が多い

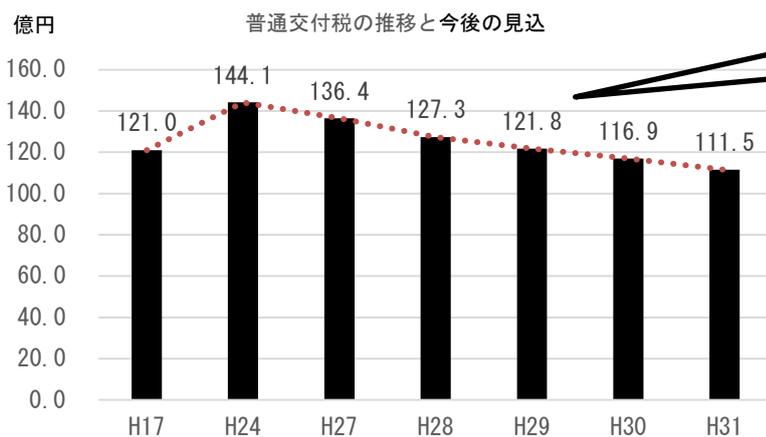
出典：総務省市町村別決算状況調「平成 27 年度市町村別決算状況調」

② 今後の推計

国から交付される普通交付税は平成 27 年度に約 136.4 億円だったものが、平成 31 年度には約 111.5 億円となり、24.9 億円が減額される見通しです。

このことにより、市の収入（歳入）は減額となることが確実であり、市の支出（歳出）を抑制しなければ、市の貯金（基金）を取り崩しても、収支バランスが崩れ、大幅な財源不足におちい
陥ることが予想されます。

※普通交付税とは…国が毎年、全国自治体の行政サービスに極端な差が出ないように、地方自治体に配分するお金のこと



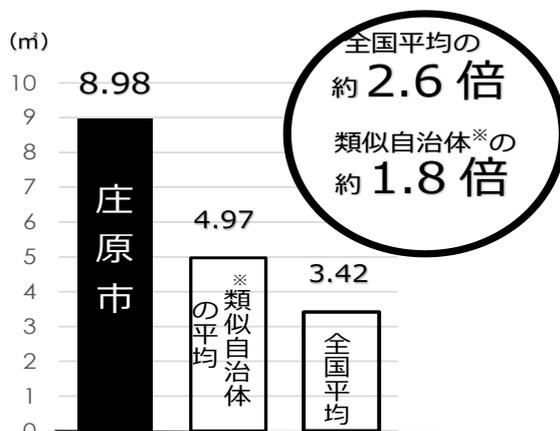
平成 27 年→平成 31 年で
24.9 億円減額

出典：「平成28年度庄原市財政計画」

3. 公共施設の状況

現在、庄原市全体では、約600の公共建物（廃校等含む）があり、その床面積は約37万㎡（マツダスタジアムのグラウンド面積の約30倍）あります。市民一人あたりの床面積は、約8.98㎡で、全国の自治体平均の約2.6倍、人口が同じくらいの市町村の約1.8倍あります。これらの施設すべてを維持すると仮定した場合、今後40年間で総額1,250億円必要となり、平均すると毎年約31億円必要と試算されています。

市民 1 人あたり床面積 約 8.98 ㎡



※類似自治体…人口が庄原市と同程度(3.75万~4万人)の市町
【出典】東洋大学 ppp 研究センター

出典：「庄原市公共施設等総合管理計画」

【裏面へ続く】

こうした状況に対応するため、平成 27 年度に「庄原市公共施設等総合管理計画」を策定し、公共建物（廃校等含む）の総延床面積を平成 47 年度までに 25%（9.4 万㎡）縮減する目標を設定し、目標達成に向け、今後個別計画を策定することとしています。

また、公共施設等総合管理計画の策定時に実施した市民アンケートでは、市民会館について、以下のような結果が出ています。

問6：あなたが特に重要（今後残していくべき）と思われる施設は何ですか

第 1 位：自治振興施設（443 名・36.6%）

第 2 位：市民会館（381 名・31.5%）

第 3 位：農業振興施設（361 名・29.8%）

第 4 位：高齢者福祉施設（356 名・29.4%）

第 5 位：図書館（331 名・27.3%）

以下省略

【参考資料】

1.市民会館（ホール）の利用状況及び維持管理費

年 度	ホールの利用状況	運営経費（指定管理料）	施設修繕費ほか
平成 26 年度	18,872 人	3,468 万円	969 万円
平成 27 年度	22,077 人	3,522 万円	888 万円
平成 28 年度	22,886 人	3,421 万円	405 万円

2.近年の主な施設整備の内容

年 度	主な整備の内容	金 額
平成 21 年度	多機能トイレ設置工事	350 万円
平成 24～25 年度	駐車場整備	1 億 8,716 万円
平成 26 年度	エレベーター設置	3,051 万円

庄原市民会館のあり方に関する市民アンケート調査票

【ご回答にあたってのお願い】

- 1 設問は全部で 12 問あります。設問ごとに番号に○印をつけてください。[]で示された記述が必要な箇所は、文章で簡潔にお答えください。
- 2 あて名のご本人がお答えください。
(ご本人が答えることが難しい場合は、ご家族の方などが代筆されても構いません。)
- 3 ご記入いただいた調査票は、同封の返信用封筒に入れて、**●月●日(●)までに**投函してください。
- 4 **お名前や住所は書かず、切手を貼らずに**投函してください。

I あなたご自身のことについてお聞きします。

問 1 あなたの性別をお答えください。

- 1 男性 2 女性

問 2 あなたの年代をお答えください。

- 1 10 歳代 2 20 歳代 3 30 歳代 4 40 歳代
5 50 歳代 6 60 歳代 7 70 歳代以上

問 3 あなたのお住まいをお答えください。

- 1 庄原地域 2 西城地域 3 東城地域 4 口和地域
5 高野地域 6 比和地域 7 総領地域

II 現在の庄原市民会館についてお聞きします。

問4 過去5年間で市民会館を利用しましたか。(駐車場のみの利用は除く)

(1つだけ)

- 1 はい → 問5をお答えください。
- 2 いいえ → 問6へお進みください。

問5 問4で「はい」に○印を付けた方にお聞きします。

① 利用した施設をお答えください。(複数可)

- 1 ホール
- 2 ロビー
- 3 集会室
- 4 研修室・会議室
- 5 その他 []

② 利用された目的をお答えください。(複数可)

- 1 公演などの鑑賞
- 2 講演会・シンポジウムなどへの参加
- 3 展示などの鑑賞
- 4 団体での活動
- 5 個人での活動
- 6 その他 []

③ 現在の市民会館の施設や舞台設備などについて、あなたはどのように思われますか。

1から7の項目ごとに、回答欄のうち、「よいと思う」、「わるいと思う」、「どちらともいえない」、「わからない」のいずれかをお選びください。(1つだけ)

項 目		回答欄			
		よいと思う	わるいと思う	どちらともいえない	わからない
1. ホール 客席：926席 舞台：間口 18.00m 高さ 7.20m 奥行 13.50m 幅 35.44m 	① 音響	1	2	3	4
	② 照明	1	2	3	4
	③ 舞台の広さ	1	2	3	4
	④ 舞台の見やすさ	1	2	3	4
	⑤ 椅子の広さ	1	2	3	4
	⑥ 座りごころ	1	2	3	4

項 目		回答欄			
		よいと思う	わるいと思う	どちらともいえない	わからない
1. ホール 	⑦ 空調	1	2	3	4
	⑧ 座席までの誘導	1	2	3	4
	⑨ 通路の幅	1	2	3	4
	⑩ 通路の歩きやすさ	1	2	3	4
2.ロビー 面 積：381㎡ 	① 明るさ	1	2	3	4
	② 広さ	1	2	3	4
	③ 使いやすさ	1	2	3	4
	④ 空調	1	2	3	4
3. 集会室 収容人員：150人 面 積：183㎡ 	① 明るさ	1	2	3	4
	② 広さ	1	2	3	4
	③ 使いやすさ	1	2	3	4
	④ 空調	1	2	3	4
4. 研修室（会議室） 面 積：58㎡ 	① 明るさ	1	2	3	4
	② 広さ	1	2	3	4
	③ 使いやすさ	1	2	3	4
	④ 空調	1	2	3	4

項 目		回答欄			
		よいと思う	わるいと思う	どちらともいえない	わからない
5.トイレ (舞台・楽屋は除く)   	① 個数 男性④1階17基、2階4基 洋式：1階 3基、2階2基 和式：1階 4基、2階0基 女性 洋式：1階 4基、2階3基 和式：1階 9基、2階0基 多機能：1階 2基、2階0基	1	2	3	4
	② 使いやすさ	1	2	3	4
	③ 快適性	1	2	3	4
6.バリアフリー 	① 客席	1	2	3	4
	② トイレ	1	2	3	4
	③ 通路	1	2	3	4
7.その他  	① 駐車場 (180台)	1	2	3	4
	② 外壁	1	2	3	4
	③ 内壁	1	2	3	4
	④ 緑地帯	1	2	3	4
	⑤ 案内表示	1	2	3	4

④ 現在の市民会館についてお気づきの点があれば、ご記入ください。

[]

Ⅲ 「庄原市民会館」の整備についてお聞きします。

問 6 市民会館は今後どのような役割を担うことが重要と思いますか。

1～4の項目ごとに、回答欄のうち、「重要」、「重要ではない」、「どちらともいえない」、「わからない」のいずれかをお選びください。（1つだけ）

市民会館の役割	回答欄			
	重要	重要ではない	どちらともいえない	わからない
1 市民の多様な文化芸術活動の発表の場	1	2	3	4
2 著名な歌手や演奏家のコンサートなどの開催の場	1	2	3	4
3 講演会やシンポジウムなどの場	1	2	3	4
4 展示スペースや交流スペースなどの多様な機能	1	2	3	4
5 市民の日常的な市民活動や会議のスペース	1	2	3	4

問 7 市民会館のホールの規模はどの程度必要だと思いますか。（1つだけ）

参考客席数

現在の市民会館ホール : 936 席

東城文化ホール : 345 席

三次市民ホール「きりり」 : 1,006 席（内訳 : 1階 604 席・2階 140 席・3階 262 席）

- 1 現在より少ない客席数（約 500～700 席程度）
- 2 現在と同程度の客席数（約 900 席程度）
- 3 現在より多い客席数（約 1,000～1,500 席程度）
- 4 わからない・その他 []

問 8 ホールで鑑賞する場合に、大切だと思うものは何ですか。(2つまで)

- 1 ゆとりがあって快適な席
- 2 舞台が見やすい構造
- 3 充実した音響・照明施設
- 4 車いす席やバリアフリー環境の充実
- 5 デザインや装飾
- 6 その他 []

問 9 これまでの質問を踏まえお聞きします。市民会館は今後どのような整備等を行えばよいと思いますか。(1つだけ)

- 1 現在の建物を大規模改修する

【参考事業費等】

総事業費：約 8 億 7 千万円 (他自治体の実績による金額の平均)

想定される事業内容：耐震改修・ホール客席・舞台・屋上防水・外壁・トイレ改修など

- 2 新たな場所へ建替える

【参考事業費等】

総事業費：約 44 億円～約 81 億円 (他自治体の実績による金額)

延床面積：約 11,000 m²～約 13,000 m² (他の自治体の施工面積)

- 3 現在の建物を維持するための必要な維持修繕を行う

【市民会館の施設修繕費の推移】

平成 26 年度：約 960 万円 (玄関ホール屋上防水修繕工事 ほか)

平成 27 年度：約 840 万円 (吸収式冷温水器修繕工事 ほか)

平成 28 年度：約 390 万円 (ロビー排煙設備修繕工事 ほか)

- 4 その他

[]

庄原市市街地公共施設のあり方検討委員会スケジュール

	■委員会	■備考
H29. 9月	【第1回委員会 9/27】	<ul style="list-style-type: none"> ・委員会設置主旨 ・施設の現状と課題 ・現地視察 他
12月	【第2回委員会 12/7】	<ul style="list-style-type: none"> ・アンケート内容 等
1月		<ul style="list-style-type: none"> ・アンケート調査票発送（上旬） ・アンケート回収（下旬） ・アンケート結果報告書作成
H30. 2月	【第3回委員会 2月下旬】	<ul style="list-style-type: none"> ・アンケート結果報告書作成 ・関係者意見聴取 (文化協会・庄原自治振興区等)
3月	【第4回委員会 3月下旬】	<ul style="list-style-type: none"> ・アンケート結果報告 等
4月～8月	4回程度	<ul style="list-style-type: none"> ・庄原市民会館・庄原自治振興センターの方向性検討 ・他の施設を含めた今後のあり方検討 ・提言書作成
9月	提 言 書 提 出	